

# 中央区エコタウン構想 晴海地区 概要版

## 1. 中央区エコタウン構想とは

### 環境、エネルギーに関わる様々な問題

- ・ 地球温暖化の進行
- ・ 災害など非常時を踏まえた自立・分散型のエネルギーの確保
- ・ 都市における緑の確保、ヒートアイランド対策など
- ・ 国のエネルギー政策の見直し

### 魅力ある地域づくり

- ・ 人が訪れたい、住みたいまちづくり
- ・ 地域の歴史・文化を活かした地域独自の魅力向上
- ・ 地域の資産価値の向上、安全・安心の確保
- ・ 以上を達成するための中長期を見越したインフラ整備と地域マネジメント力の向上 など

### 中央区エコタウン構想

環境、エネルギーの様々な問題に対応し魅力ある地域をつくるための中長期の構想

晴海地区：住居系地区のモデル

東京駅前地区：業務系地区のモデル

### エコタウン構想の対象範囲

環境面が中心ですが、それだけでなく、社会面、経済面も含めた、地域の課題を地域で解決するための構想です。

### エコタウン構想の実施主体

住民、事業者、行政が協力して実施します。また、これらの主体の協力のもと、構想を推進するエリアマネジメントの組織の立ち上げも検討します。

## 2. 晴海地区の資産と課題

晴海地区の資産と課題を踏まえて、地域の実情に沿った将来の方向性を定めます。

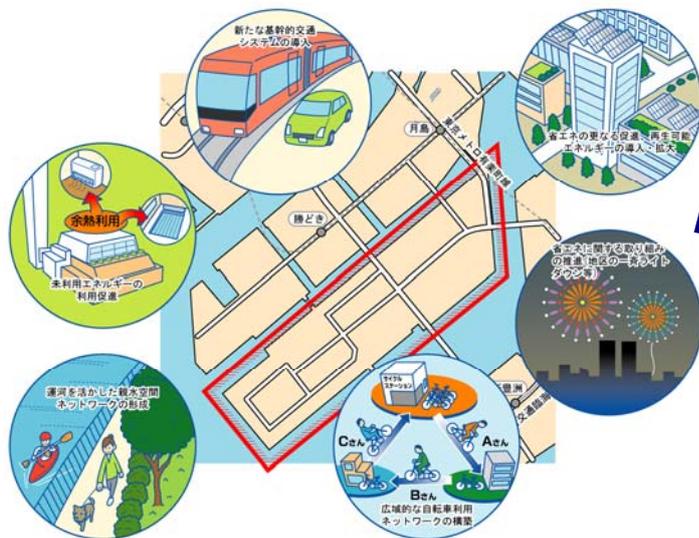
### 地域の資産

- ・ 清掃工場の余熱・発電電力
- ・ 運河の海水など未利用エネルギー
- ・ 中央区内では緑が比較的多い
- ・ 未利用地の存在、高い開発ポテンシャル など
- ・ 外周の親水空間

### 地域の課題

- ・ 地域のエネルギーの有効利用
- ・ 親水空間や緑の連続性の確保、質の向上
- ・ 鉄道等の交通機関の不足
- ・ カーシェア、サイクルシェアなど環境にやさしい交通の取り組み推進 など

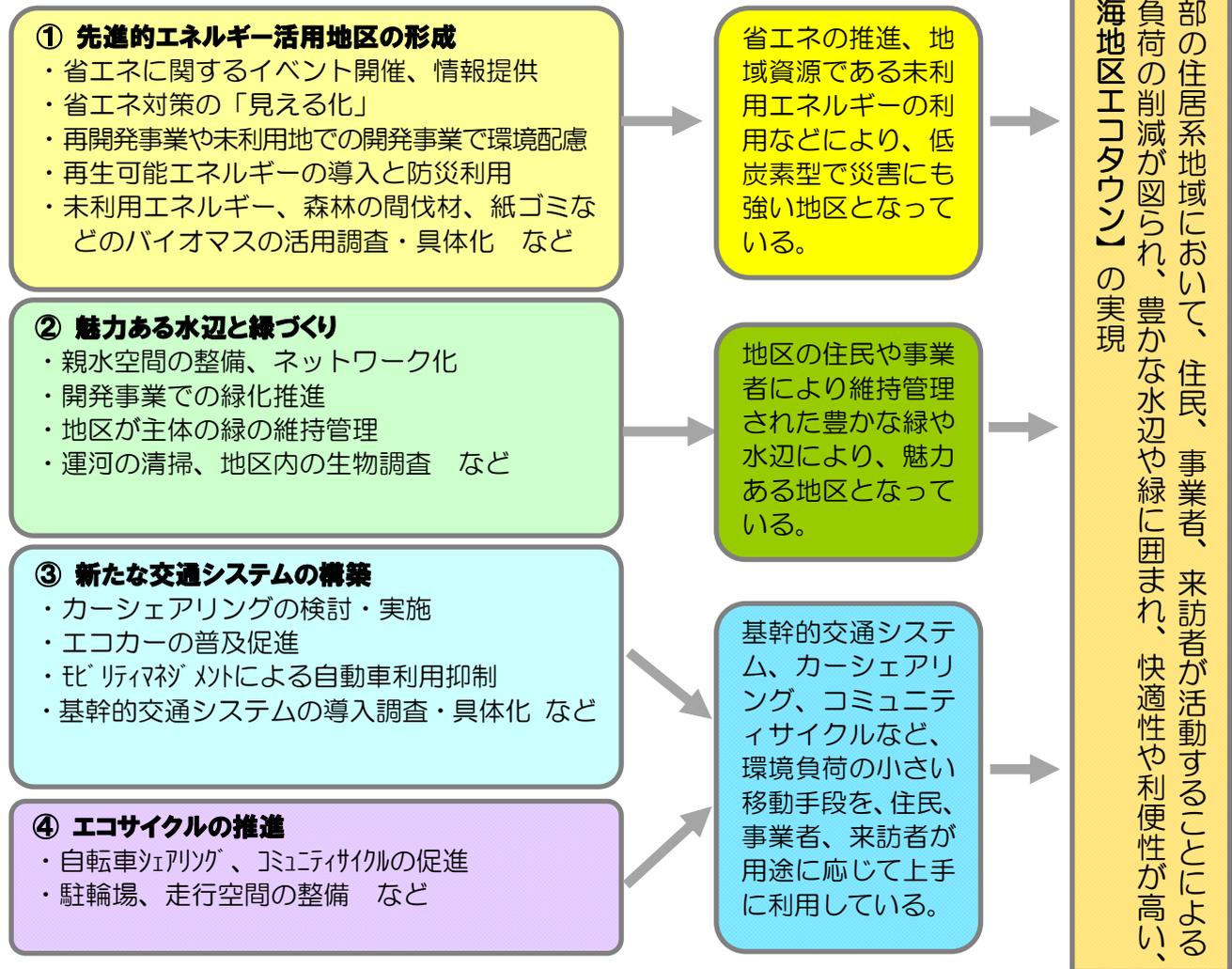
## 3. 晴海地区が目指すまちの将来イメージ



- 地域の資源である **未利用エネルギー** が有効に使われています。省エネ、再生可能エネルギーの利用と合わせて、**低炭素型のまち**が実現しています。
- 人口の増加に合わせた新たな **基幹的交通システム**の導入や **コミュニティサイクル**の導入により、環境負荷の小さい移動が実現しています。
- 運河を活かした緑豊かな **親水空間ネットワーク**が形成され、生活に潤いを与えています。
- 地区の住民や事業者による既存のまちづくりの組織が、**エリアマネジメント**の仕組みを確立し、活発に活動しています。

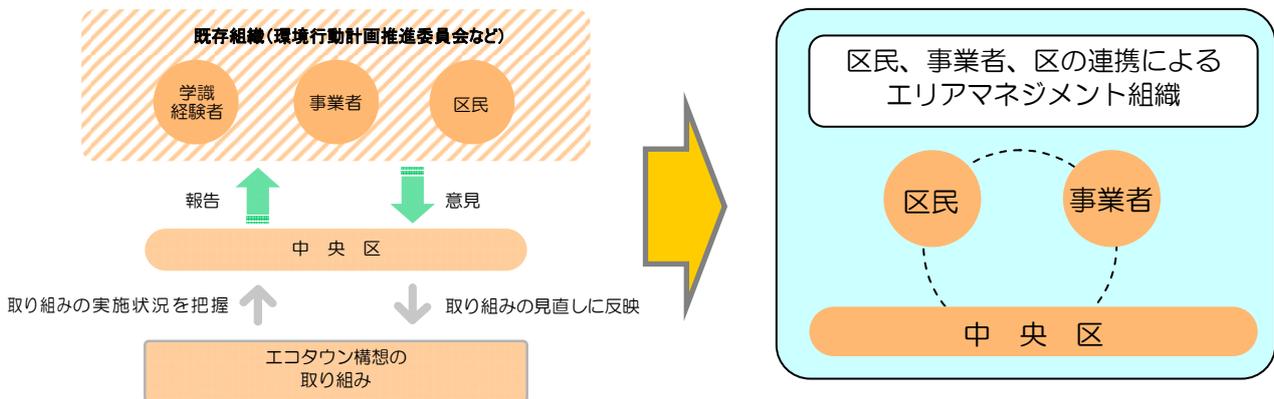
#### 4. エコタウンの実現に向けた取り組み

4つのプロジェクトを推進し、エコタウンの実現を目指します。



#### 5. 進行管理

エコタウンの進行管理は、PDCAサイクルに基づき、実施します。始めは既存の組織を活用し、将来的にはエリアマネジメントの組織を設立する等により取り組みを推進します。



「エコタウン構想」の検討経緯 ※平成 22～23 年度の 2 力年をかけて検討しました。

- ワークショップ (計 7 回) : 地区内の自治会、地権者、エネルギー事業者、東京都職員、中央区職員により構成されたワークショップを開催 (学識アドバイザー村木美貴千葉大学准教授)
- 中央区子供環境サミット 2011 (月島第三小学校などの発表)
- 地区内区民・事業所へのアンケート